

地震によって『方舟』 夕木 春央 / 著 講談社

地下建築に閉じ込められた10人  
脱出には一人の犠牲が必要

極限状況で起きた殺人 誰 誰 誰 誰 誰 誰 誰 誰 誰 誰

「犠牲になるのは犯人だ」 そう誰もが信じていた...

本格ミステリ界 騒然のラスト!

『60歳から絶対やるべき 防犯の基本』 京師 美佳 / 全面監修 主婦の友社

「わたしは騙されない」 その考え、危険です!

悪いやつらに狙い撃ちされる前に、身を守る術を習得しませんか?

むれをみちびくシリーズ 第2弾!!

『ゴリラのおうさま』 ジューン・スモールズ ぶん しもかわら ゆみ え

絶滅危惧種マウンテンゴリラの生態。シルバーバックの神秘。しもかわらゆみさんの優しいタッチの絵もすてき!

イマジネーション・プラス

『あえてよかった』 村上 しいこ / 著 小学館

今の子供達のリアルが胸を打つ!

妻に先立たれた58歳、子育て経験ゼロの男が、放課後児童クラブで働くことに?!

かつて子どもだったすべての人たちに

『私たちの世代は』 瀬尾 まいこ / 著 文藝春秋

遠回りしても つまずいても 悲しくても 苦しくても きっとみんな“正解”。さあ、これからだ。

優しくてあたたかい。瀬尾まいこが綴る心にしみる物語。(号泣注意)

あの日々が、きっと今日につながっている!

『102歳、一人暮らし。』 哲代おばあちゃんの心も体もさびない生き方! 石井 哲代 / 著 文藝春秋

哲代おばあちゃんの『生き方上手になる心得』その一つ「自分を励ます名人になって心をこきげんにしておくんです。人は変えられないが、自分は操作できます。」

心が元気になる1冊!

好評連載

熱血! 新米司書 ショコが行く!

あたしは、シヨコ。この図書館に勤め始めてまだ3ヶ月... まだまだわからないことばかりだけれど、今日も元気ががんばるぞ〜

あたしは、シヨコのせんぱい。司書になって今年で10年。かわいい後輩が入ってうれしいわ。さあ、シヨコ、今日もピシッいくわ〜

よ〜く聞け〜! シシヨコよ!

毎日、おまえに付き合わされている私の疲弊し、辟易としたこの気持ちとはこういうことだった!

くたくたに疲れて、空気を抜かれたような体をぶらぶらと無意に駅へ運んでいる。怒

あなたの慟哭に寄り添う言葉がきっとここにある!! (せんぱい)

『その気持ち、なんて言う? プロに学ぶ感情の伝え方』 NHK「言葉にできない、そんな夜。」制作班 / 【編】祥伝社

さっば〜ん!! どっど〜ん!

さうば! せんぱい!

人生と仕事、すべてがうまくいくシシヨコおすすめバイブルここに降臨!

あなたの、その“ちゃんとしなきゃ!” まちがってますから!! (シシヨコ談)

せんぱいの「シシヨコ!ちゃんとやった?」の耳タコとはもう縁を切るわ!

『私、ちゃんとしなきゃ』から卒業する本! 小田桐 あさぎ / 著 WAVE出版

あっ!?!でも本当に困ったときには、いつでも助けてくださいね! せんぱい

北杜市図書館総合情報誌

# やまね便り

82号

MY BEST BOOK OF THE YEAR 2023

図書館員 私の推し本 2023

堂々完成! 本の帯といっただらおびなのよっ!

きゃ〜!せんぱい、私たちついに表紙に進出ですね〜。

まあ表紙というより帯だけだな。帯と言えばシヨコ、今回はおすすめ本を本の帯ふうで紹介してるんだけど、「本の帯っていうより、〇〇ページの広告欄みたいだね」と言われちゃってね...

え〜っ、誰がそんな失礼なことを!!わたしがピシッと抗議してくるわっ!

じゃあ、ピシッと行ってきてもらおうかしら。館長 に!!

お〜い、どこ行く?シヨコ...戻ってこ〜〜い! お〜い! お〜い!

文:T.Suzuki イラスト:AKawano

本イラスト K.taniguchi

『めざせ!ムシヨラン三ツ星』  
黒柳 桂子/著 朝日新聞出版

「刑務所の食事は 受刑者が作ってるんだよ」

刑務所に関する本なのに 楽しく、感動をもたらしてくれる。

現役刑務所栄養士と 男子受刑者たちの給食づくり奮闘記!

ムシヨランレシピ付き

『魔女の一日 魔女になるための秘密』  
飯島 都陽子/作 金の星社

魔女のくらしって楽しい!

「ほうきにのる練習をしている」と 司書からひとこと  
真剣にうちあけてくれた、あの時の 女の子にもぜひおすすめしたい!

『この夏の星を見る』+  
辻村 深月/著 KADOKAWA

何度も胸が熱くなる 超ド直球青春小説

哀しさ、優しさ、あたたかさ。 人間の感情のすべてがここにある。

『1万人の脳を見た名医が教えるすごい左利き』  
「選ばれた才能」を120%活かす方法  
加藤 俊徳/著 ダイヤモンド社

- 左利きの館長が唸ったすごい1冊
- 左利き必読!己を知ろう!
- 左利きはマイノリティではない!

1万人の脳を見た 名医が教える すごい左利き

『リリかさんのぬいぐるみ診療所 (パンダのなみだ)』  
かんの ゆうこ/作 講談社

勇気をもって前に進んで生きていこうと ~読者を“治療”してくれる本~

ぬいぐるみを直すという優しく柔らかな お話にも関わらず、リリかさんの鋭い観察力と 力強い言葉に心惹かれる!

『この父ありて 娘たちの歳月』  
梯 久美子/著 文藝春秋

「父」という存在に 翻弄されながらも、 強く生きて 書くことで

人生 壮絶

雑誌「新潮」で始まった梯さんの「石垣りん」についての連載も合わせてどうぞ。

『「アマゾンおケイ」の肖像』  
小川 和久/著 集英社インターナショナル

13歳でブラジル移民となるが、出奔。その後、女実業家として大成功したが、戦後の混乱で人生どん底に。20世紀を駆け抜けた女性(小川フサノ) 波乱万丈の実話。

人生は一度きり。 夢を叶える。

『体はゆく できるを科学する<テクノロジー×身体>』  
伊藤 亜紗/著 文藝春秋

できなかったことが、できるようになる時 体は、意識を超えて 先に「ゆく」?!

身体の不思議にテクノロジーから迫る!

今年 帯!!

図書館職員イチ推しの本を紹介する、 ~MY BEST BOOK OF THE YEAR 2023~。 今年はその本の帯ふうで紹介してみました。

限られた小さなスペースの中で本の魅力をアピールするための工夫(キャッチコピーやレイアウトなど)もあわせてお楽しみください。

紙の本でしか味わえない驚きのトリック  
『世界でいちばん透きとおった物語』  
杉井 光/著 新潮社

不倫関係の末に生まれた子供、宮内彰吾が、父の遺作を探し出す推理小説。タイトルに込められた本当の意味とは…。

新たな読書体験!!

『身近な生物のきもち』 大島 健夫/著  
メイツユニバーサルコンテンツ

君のきもちがわかれば 歩み寄れるカモ!?

Gやカメムーのきもちも聞いています 何しろ身近なものですから…

『お電話かわりました名探偵です 復讐のジングル・ベル』  
佐藤 青南/著 KADOKAWA

「110番です。事件ですか?事故ですか?」  
一作も<万里眼>の推理が冴えわたる!

シリーズ第3弾。<万里眼>に異名を持つZ県警通信指令課員 君野いぶきが拉致監禁された。早乙女くんは、憧れのいぶき先輩の窮地を救うことができるのか…!?

『すべての人に いいてる必要なんてない』  
キム・ユン/著 かんき出版

礼儀正しく善良な人になれればかり 言われて、無礼でいじわるな人 とていつか金言えはいいは学ばなかった。(本文より)

生き苦しさ をかかえている すべて日本人へ。

あなたへ贈る ころの処方箋一。

『目でみる方言』  
岡部 敬史・文 山出 高士・写真 東京書籍

方言を写真にすると こうなる!

穴のあいた靴下を何て言う? 長崎の方言で“じゃがいも”

『帯』とは、本の表紙などに 帯のように巻いてある細い紙のこと。

読者にその本の魅力をアピールし、手に取ってもらうことを目的に、内容の紹介や、著名人による 推薦文などが記載されています。

『田舎のポルシェ』 篠田 節子/著 文藝春秋

三者(車)三様の人間ドラマがここにある!

トラブル続出! ドライブの 結末は?!

「台風の中、東京を目指す軽トラ」 「廃車寸前のポルポに迫るのは…」 「願いが叶うか…ロケバスの旅」

『成瀬は天下を取りに行く』  
宮島 未奈/著 新潮社

成瀬は、いつでも全力投球

成瀬は 自分の道をいく!

元気をもらえる! スカッとする1冊

『こんなかんじ』  
クレール・ルプール/著 千倉書房

どんなかんじ?

柔らかいタッチの絵と、「こんな感じ」に共感し、読み終えたらきっと 温かい気持ちになれる大人向け絵本

『腹を空かせた勇者ども』  
金原 ひとみ/著 河出書房新社

~思い出せ!牙を抜かれ、飼いなさらされ、 疲れ果てた大人たちよ!~

「それな」を言葉に突き進む 10代女子の 青春爆走譚!

『鳥になって感じてみよう』  
ティム・パークヘッド/文 キャサリン・レイナー/絵 化学同人

優しく鮮やかな絵とともに 繰り広げられる、イギリスの鳥博士が贈る 個性豊かな鳥の世界。 鳥の不思議を覗いてみませんか?

大人も 心惹かれる 美しい絵本

『ぼくのいぬはどうしてこんなにかわいいのか』  
しゅん/作 えがしらみちこ/絵 KADOKAWA

当時小学2年生だったしゅんくんの 夏休みの自由研究から生まれた絵本。 愛犬チャコへの 愛 がつまった

心あたたまる感動作!

『海をわたる 動物園』  
いちかわ けいこ/作 アリス館

もう1つの戦争 ~空っぽになった動物園~

動物がいっぱいの動物園を取り戻そうと 奮闘した人たちの実話を基にしたお話。

『そして、ぼくは旅に出た。一はじまりの森ノースウッズ』  
大竹 英洋/著 あすなる書房

のちに写真家になる著者が、まだなにものでもない若者だったとき、あこがれの写真家を訪ね、導かれるようにアメリカ北部の森と湖を目指す旅の記録。 大自然の中で偶然の出会いや、思いがけない体験のドキドキ感と、そして時々ウルウル。

『ぼくは本のお医者さん』  
深山 さくら/文 佼成出版社

“ブックドクター”である 齋藤英世さんが歩んできた道と 本に対する思いが、今を生きる 私たちに教えてくれた 大切なこととは…。